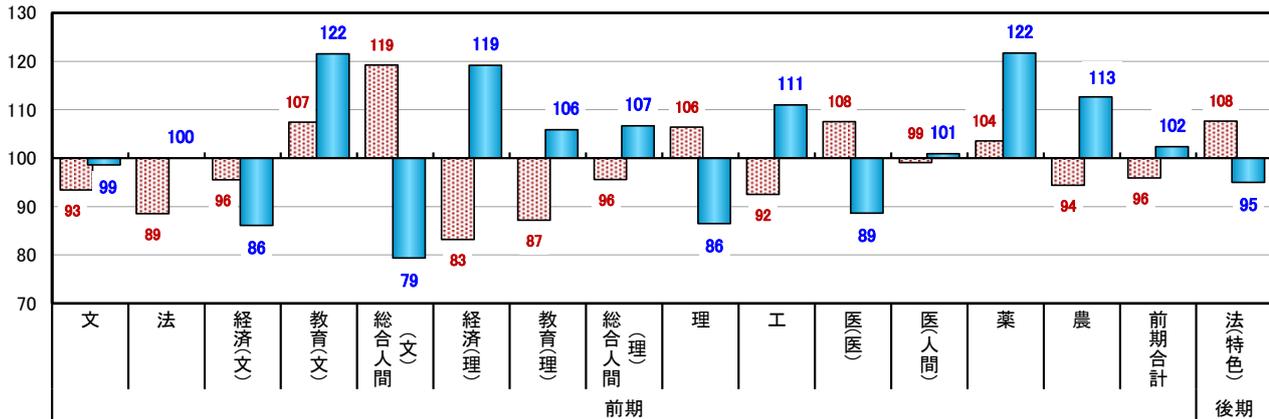


京都大：前期は大学全体では9年ぶりの増加

前期：+165人 後期：-19人

※前年度の志願者数を100とする指数

■2021年度/2020年度 ■2022年度/2021年度



主な入試変更点 第1段階選抜基準変更：医(医)<前>…約3.0倍→共通テストの合計が900点満点中630点以上の者のうちから、募集人員の約3倍

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、前期は165人(102)の微増だが、9年ぶりの増加。文理別では、文系は105人(95)のやや減少で4年連続減少、一方で理系は270人(106)のやや増加で8年ぶりの増加。特色入試として実施の法のみ募集の後期は、19人(95)のやや減少で、前年度の反動による増減が継続。

<前期日程>

- 文(99)は、微減だが3年連続減少。
- 法(100)は、志願者数は前年度と同数の701人。前年度の反動による増減が途切れた。
- 経済は、(文系)(86)は2年連続減少で志願者数は2016年度以来の500人を下回った。(理系)(119)は2年連続減少の反動に加えて、共通テスト難化により、共通テスト：個別試験=1：2.6の個別試験重視配点が支持され大幅増加。
- 教育は、(文系)(122)は大幅増加で2年連続増加、(理系)(106)は前年度減少の反動でやや増加。
- 総合人間は、(文系)(79)は前年度大幅増加の反動で大幅減少、(理系)(107)は前年度やや減少の反動でやや増加。
- 理(86)は、前年度やや増加の反動に加えて、共通テスト難化による慎重な出願により減少。
- 工(111)は、前年度減少の反動に加えて、共通テストで大幅に難化した数学を合否判定には利用しないことが支持されて増加。学科別では、人気が低い系統の工業化学(95)はやや減少だが、他の5学科は増加し、特に(電気電子工)(126)、地球工(124)は大幅増加、人気が高い系統の情報(114)も10%を超える増加。
- 医(医)(89)は、前年度増加の反動と共通テスト難化による慎重な出願の影響により減少、志願者数は4年連続300人を下回り、2007年度に募集を前期一本化した以降では最も少ない志願者数だった。
- 医(人間健康科学)(101)は、微増だが、5年ぶりの増加。
- 薬(122)は、コロナ禍の中で人気上昇した系統であることに加えて、志願者数は3年連続200人を下回った反動もあって、大幅増加。
- 農(113)は、2年連続減少の反動で増加、志願者数も3年ぶりに700人を上回った。
- 志願倍率の基準による第1段階選抜は、総合人間(理系)、経済(理系)で実施され、それぞれの合格率は90.3%、84.7%で、経済(理系)が厳しかった。

<特色入試> ※〔 〕内は前年度数値

- 後期募集の法を除くと、募集人員145人〔145人〕に対して、志願者数は494人〔551人〕、合格者数は95人〔118人〕。志願倍率は3.4倍〔3.8倍〕で0.4ポイントダウンした。前年度に続いて、コロナ禍による志願者数の減少が見られた。
- 学部・学科・コース・入試方式別の合格者数は以下のとおり。
 - 文…9人〔11人〕、経済…15人〔17人〕、教育…5人〔5人〕、総合人間…5人〔5人〕
 - 理…10人〔11人〕(数理学入試4人〔6人〕、生物科学入試6人〔5人〕)
 - 工(建築)…1人〔1人〕、(工業化学)…3人〔6人〕、(情報)…2人〔3人〕、(電気電子工)…4人〔6人〕、(物理工)…5人〔4人〕、(地球工)…1人〔3人〕
 - 医(医)…1人〔2人〕、(人間健康科学/先端看護科学)…15人〔21人〕、(人間健康科学/先端リハビリテーション科学-理学療法)…4人〔5人〕、(人間健康科学/先端リハビリテーション科学-作業療法)…3人〔2人〕
 - 薬(薬科学)…1人〔3人〕、(薬)…1人〔2人〕
 - 農(食料・環境経済)…2人〔2人〕、(資源生物科学)…1人〔2人〕、(応用生命科学)…1人〔2人〕、(地域環境工)…3人〔2人〕、(森林科学)…3人〔3人〕、(食品生物科学)…0人〔0人〕